



## 高い所へ行くと、耳がおかしくなるのはなぜ

### 気圧の変化で鼓膜がおされるため

エレベーターや飛行機に乗ったときなど、急に高さが変わったときには、耳がよく聞こえなくなるなど、耳がおかしくなることがよくあります。おかしくなるのは、耳の中にある鼓膜という薄い膜のところでは、鼓膜の内側には、中耳といわれる小さなへやがあり、のどのおくの方へつながっています。

中耳は完全にふさがったへやではありませんが、簡単には、空気が出入りできないしくみになっています。

エレベーターに乗ったときなど、急に高さが変わったときには、自分のまわりの外の気圧（空気のおす力）が変わります。鼓膜の外側の気圧はそれに合わせて、すぐ外の気圧と同じ気圧になります。しかし、鼓膜の中のへやの気圧は、すぐには変わることができないため、外の気圧と気圧の差ができてしまいます。すると、鼓膜は気圧の高い方から低い方へ強くおされることになるため、音がよく聞こえなくなるなど、耳がおかしくなるのです。

### トンネルに入ったとき、耳がおかしくなるのも同じ理由

列車が急にトンネルに入ったときにも、同じようなことが起こりますが、これも、トンネルの中と、外の気圧の差が原因で起こるのです。（監修・保志 宏）

